

## IOSCO 投資家保護のため自動化された助言ツールの利用の増加を監視

証券監督者国際機構 (IOSCO) が本日公表した報告書によると、オンラインテクノロジーツールは、資産配分、ポートフォリオ選択、取引執行等のサービスによって投資助言の価値の連鎖に重大な影響を及ぼしている。

IOSCO 自動化された助言ツールに関するサーベイ報告書のアップデートは、2014 年に IOSCO が市場仲介業者とリテール投資家による当該ツールの利用についてサーベイ報告書を公表してから、投資助言の自動化に係る市場が急速に発展したことを示唆している。アップデートされた報告書は、自動化された投資助言ツールの継続的な発展により、リテール投資家に対する投資助言の提供による影響を理解することに資するための、当局による現在進行形の監視が必要であると結論付けている。

自動化された助言ツールの利用は、市場仲介業者が助言をより効率的かつ費用効率が高い形で提供しようとするにつれて拡大している。ますます多くのリテール投資家もまた、選好により、又は伝統的な仲介業者のサービスが非常にコストがかかる又は当該投資家のニーズとの関係で広範に過ぎることから、自身のポートフォリオをオンラインツールの活用により管理することを好んでいる。同時に、自動助言ツールが提供する機能性や分析性の幅は広がり、その洗練度も向上している一方、インターネットに基づくテクノロジーに対する規制は進化し続けている。

市場の急速な成長及び進化を踏まえ、2016 年、IOSCO はメンバーに対し自動化された助言ツールに関する以前の調査結果のアップデートを行うため、第 2 回サーベイを実施した。IOSCO メンバーは、とりわけ、管轄内の当該ツールの増加・利用・規制・監督や、サイバー犯罪・不適切な助言・人口動態の変化やその他の類似の進展により発生している規制上の課題について回答した。

アップデートされた報告書には、サーベイの質問に対する回答の要約及び複数の当局が採用している規制上の手段やガイダンスの概要が含まれている。

(以 上)